



【写真】令和6年度静岡県さくら写真コンクール準特選 「春景を映す」
撮影場所：富士市大淵 撮影月：4月

・・・・・・・・目次・・・・・・・・

| | |
|-------------------------------|----|
| 会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 2 |
| 知事挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 3 |
| 特別支援学校緑の保全事業・・・・・・・・・・・・ | 4 |
| 技術研修会(ロープ高所作業特別教育)、今後の研修会開催予定 | 5 |
| 緑の相談所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 6 |
| 緑化巡回アドバイザー・・・・・・・・・・・・・・ | 7 |
| 生物多様性の保全推進事業・・・・・・・・・・・・ | 8 |
| みどりのおたより(静岡県環境ふれあい課) | 9 |
| 全国都市緑化かわさきフェア・・・・・・・・・・・・ | 10 |
| 造園施工管理技士会だより(総会、講演) | 12 |
| 技士会(視察研修)、静岡県と建産連との意見交換会 | 13 |
| 優秀施工者国土交通大臣顕彰、静岡県優秀施工者知事表彰 | 14 |
| 若手技術者紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 15 |
| 会員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 16 |



公益社団法人

静岡県造園緑化協会

会長 江間 正章

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、日ごろから当協会の運営に特段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年五月の定時総会後の理事会にて会長に就任いたしました。歴代の役員が築き上げてきた成果や協会に取り組む姿勢を受け継ぎ、会員の皆様の率直なご意見を伺いながら協会の発展を図るべく決意を新たにしているところです。

さて、昭和四十一年の協会設立時から半世紀余りが経過し造園業界を取り巻く経営環境は大きく変わりました。植栽を伴う造園工事は少なくなり、緑地等の維持管理工事の割合が高まりました。

公園や緑地は、美しい景観を創出し都市生活に安らぎを与えるとともに、災害時には避難地や防災拠点として機能するほかヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全など、

都市活動を支える重要な役割を担っています。

緑地管理を担う我々は、緑化木等の適切な維持管理を通じて、利用者の安全を確保するとともに、多様なニーズに応える使命を担っています。その役割を果たすためには、伝統的な造園技術の継承はもとより、新たな考え方や新技術の習得に努めなければなりません。

また、少子高齢化による若手の人材不足が深刻化しています。人材不足は、工期の遅延や受注機会の損失につながり、業界全体の生産性低下を招いています。

今まさに、時代の転換期を迎える中、人材の確保・育成、造園技術の研鑽、働き方改革は、業界が一丸となって取り組むべき喫緊の課題であると認識しています。

協会といたしましては、環境緑化の推進、技術研修会の開催、学生体験就労の支援などを通じて、会員の皆様が広く利益を享受できるよう運営していきたいと考えています。

本年も、会員の皆様のお力添えのもとで、緑豊かな住みよい県土づくりに貢献してまいりますので、関係各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、健やかで素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



静岡県知事

鈴木 康友

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人静岡県緑化協会会員の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昭和四十一年の発足以来半世紀以上にわたり、県内各地での緑化相談所の開設や緑化技術支援などを通じて、緑豊かな住みよい県土づくりに多大な御貢献をいただいていることに對し、改めて感謝申し上げます。

さて、二〇一六年のバリ協定の署名式において、日本を含む多くの国が、二〇五〇年までにカーボンニュートラルを実現することを表明いたしました。昨年六月にイタリアのプーリアで開催されたG7サミットにおいても、地球温暖化防止が提言されるなど、脱炭素化に向けた動きが加速しております。本県においても、二酸化炭素の排出の削減に取り組むとともに、二酸化炭素の吸収量を確保するため、引き続き、森林整備や都市緑化などの取組を積極的に進めてまいります。

さらに、生物多様性の損失は世界的な課題となっております。

二〇二二年に開催された国連生物多様性条約第一五回締約国会議(COP15)において、二〇三〇年までに陸域と海域の30%以上を健全な生態系として保全する「30 by 30 サーターティ・バイ・サーターティ」が世界目標として採択されました。

こうした中、県では、貴協会の皆様にも御協力いただきながら、二〇二三年三月に改訂した「ふじのくに生物多様性地域戦略」に基づき、県立自然公園や鳥獣保護区等の保護地域の拡張と質の向上に加え、企業、個人等の取組により保全されている里地里山や都市緑地などを「自然共生サイト」として登録する取組を支援してまいります。

本県の美しく豊かな自然を守り、次代に引き継ぐためには、景観や環境に配慮した緑化施設の効率的な維持管理など、高度な専門技術を有する貴協会並びに会員の皆様のお力添えが不可欠であります。皆様におかれましては、本県が目指す「幸福度日本一の静岡県」の実現に向け、更なる御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝御活躍を心から祈念申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

特別支援学校

緑の保全事業

平成二十七年(2015)年度から県立特別支援学校を対象に緑化活動や校庭の樹木剪定などを各支部会員がお手伝いしています。

浜松みをつくし特別支援学校

菜園を覆うように伸びた枝の処理で困っていた学校の要望をお聞きし、みどり園欄が枝払いをお手伝いしました。



(着前) 菜園を覆う高木



(完了) 落枝の危険がなくなりました

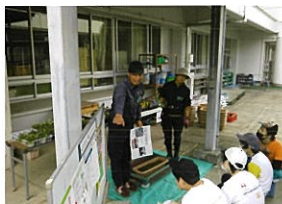


(作業) 高所作業車を使って枝払い

富士特別支援学校

令和六年十月二十二日(火)、プランターへの花苗の植栽をお手伝いしました。指導は、赤池造園欄の赤池準一さんと中内まさみさんです。参加者は中学部(一、二、三年)の緑化班十八名です。講師から花苗の植え方の説明を受け、各自プランターへ培土を入れてから、パンジー、ヴィオラ、アリッサムの苗を移植しました。

また、学校から要望のあった植



花苗の移植方法を説明



除草及び刈り込み



花苗をプランターへ移植

込みの除草や刈り込みを赤池造園欄がお手伝いしました。

藤枝特別支援学校 焼津分校

令和六年十一月二十二日(金)、チューリップ球根の植え付けをお手伝いしました。指導は、御富士昌造園の村田昌弘さん、加藤造園の加藤浩良さん。参加者は、高等部(一〜三年)園芸班の十三名です。村田さんから植栽の指導を受けた後、自分たちで段取りを決め、四種類の球根の植え付けをおこないました。



チューリップ球根の植え付け

技術研修会 ロープ高所作業 (樹上)特別教育

高さ2m以上の高所で作業を行う場合に法令で義務づけられた作業床の設置が困難な場合、「ロープ高所作業」を用いざるを得ない場合もあります。但し、事業者は、ロープ高所作業に就かせる作業員に対し、特別教育の実施が義務付けられています。

本協会では、本年度は、県下二箇所で開催を実施しました。

第一回は、六月に浜松市内で開催し会員十三名が受講。第二回は、令和六年十月九日(水)に、県立中央図書館で開催し会員十七名が受講しました。今回も、アーボリスト®トレーニング研究所が主催する講座を受講する形で開催しましたが、当日は、雨天のため座学及び実技を室内で行いました。



各種カラビナを確認



雨天のため室内でクライミングを実演する講師

今後の研修会開催予定

◆造園樹木の育成・管理

日時 令和七年一月三十日(木)

午後一時三十分～

会場 静岡市産学交流センター

静岡市葵区御幸町3-21

内容 樹木管理の不適切な事例を取り上げながら植栽や剪定

技術について解説

講師 日本庭園協会会長 内田 均氏

(元 東京農工大学教授)

◆高所作業車と伐採

日時 令和七年二月十九日(水)

午後一時三十分～

会場 静岡市産学交流センター

静岡市葵区御幸町3-21

内容 高所作業車を使用した危険

木等の安全な伐採の解説

講師 樹小連組代表 小池 勲氏

(所在 山梨県北杜市)

※詳しい内容や申し込みは、協会ホームページにて御確認ください。



緑の相談所／富士市緑と花の百科展(10/13)

環境緑化の普及啓発を目的に、例年春と秋に県内各地の園芸市などの会場で「緑の相談所」を開設し、会員が緑化木等の相談にお答えしています。

会場では花の種や花苗の配布、種だんご作りなど各支部で工夫を凝らして普及活動を行っています。

緑の相談所(支部活動)



種だんごづくり／富士市緑と花の百科展(10/13)



花の種配布／静岡市秋の園芸市(10/5,6)



緑の相談所／秋の即売会(10/27)



緑の相談所／静岡市秋の園芸市(10/5,6)



花の苗配布／浜松花と緑の祭2024(10/19)



緑の相談所／浜松花と緑の祭2024(10/19)

緑化巡回アドバイザー

公益財団法人静岡県グリーンバンクから委託を受け、当協会技術委員らが、緑化施設等を巡回指導しました。九月十七日から十月二日までの期間に、芝生園地十八ヶ所、景観整備地一ヶ所のほか、本年度は県立特別支援学校九校も対象に実施させて頂きました。

芝生園地では、猛暑で管理に苦労されたようですが、概ね生育良

好でした。なお、高木に囲まれた日照不足の園地では光環境の改善を、また、刈りムラのある園地では芝刈機の使い方を助言しました。

景観整備地では、植栽五年目となるアジサイの生育状況を調査しましたが、管理者が間引くなどして生育も良好でした。

特別支援学校では、技能員の方が様々な制約の中で管理されていると伺いました。虫害や雑草の対処方法のほか、樹種に適した剪定方法を助言しました。



ロボット芝刈機を導入し適切に管理された園地



周囲の高木で日陰になる園地



理事長が週2で管理し緑があざやかな保育園



大きな池のほとりにあるアジサイ園地



樹種に適した剪定方法を説明



サツマイモの菜園に繁茂したチガヤ

生物多様性の保全推進事業(新規)

気候変動や生物多様性の保全など、地球環境問題への対応が加速化する中、「都市の緑」の量と質の向上が求められています。

協会では、会員が培った造園技術や知見を活かすことでこうした環境問題にも貢献できると考え、本年度から緑化施設等における生物多様性の保全推進事業に取り組み始めました。

自然共生サイト認定・管理アドバイザー研修会

民間等の自然共生サイト認定・管理に関する支援や助言を行うアドバイザーを育成することを目的に、静岡県からの委託業務として、協会会員を対象にした研修会を開催しました。今後、受講生は、アドバイザーとして企業等へ自然共生サイト認定を支援していきます。

○座学研修

令和六年九月十三日(金)静岡市内の「あざれあ」にて開催し、会員十六名が受講しました。

内容

- ・ OECM概論 静岡県環境ふれあい課 総括主査 平出博之氏
- ・ 生物多様性の保全 常葉大学 名誉教授 山田辰美氏
- ・ 自然共生サイト認定申請の支援 (圃環境アセスメントセンター) 企画部長 馬場美也子氏



常葉大学名誉教授 山田辰美先生

○視察研修

令和六年九月二十日(金)住友ベークライト㈱静岡工場(藤枝市高柳)のご協力により、令和五年に自然共生サイトに認定された工場敷地内のビオトープ「憩の杜」を視察しました。

視察に先立ち、住友ベークライトの熊谷氏から、認定申請の背景や社員による保全活動について、また、整備後のモニタリング(希少種調査)結果について造成業者でもある㈱エクノスワタナへの伊藤氏から説明を受けました。



視察前に熊谷氏から説明を受ける受講者

サイト見学時には、静岡工場の堀江氏から、タマムシの棲み処づくりをはじめとした生物多様性の保全活動や自然観察の見どころを説明していただきました。



タマムシを増やす活動を説明する堀江氏



造成時の工夫を説明する伊藤氏

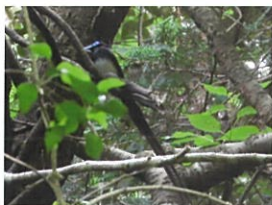
みどりのおたより

静岡県環境ふれあい課

生物多様性の保全

「最近スズメをみかけなくなつたな」と思うことはありませんか？

日本の生物多様性は過去五十年間損失し続けており、生態系サービスは劣化傾向にあります。顕著な例としてスズメやヒバリ等身近な鳥類の15%、チョウ類の33%にあたる種について、一年当りの



サンコウチョウ(静岡県：準絶滅危惧)

個体数が急速に減少しています。

世界的にも同様であり、多くの生物が絶滅の危機に瀕しています。このような状況を受け、二〇二三年には、「生物多様性の損失を止め、反転させる」という「ネイチャーポジティブ」の考え方が二〇三〇年に向けた世界目標として採択され、この実現に向け、陸域と海域の30%以上を健全な生態系として保全する「30 by 30(サーティ・バイ・サーティ)」が目標の一つとして掲げられました。

県では、生物多様性を保全するため、令和五年三月に改訂した「ふじのくに生物多様性地域戦略」において、生物多様性とは、「多くの種類の生物がいて、それらが様々な形でつながりあっていること」、また、「単に生物の種類が多いただけなく、「遺伝子の多様性」「種の多様性」「生態系の多様性」の三つの視



フジタイゲキ(環境省：絶滅危惧Ⅱ類、静岡県：絶滅危惧ⅠB類)

点で捉えることができる」と定義しています。また、「30 by 30」の達成を目指すことを追記しました。

目標達成のためには、国立公園等の保護地域の拡張と管理の質の向上、及び保護地域以外で生物多様性保全に資する地域、いわゆるOECMの設定・管理が必要となります。なお、OECMに登録されるためには、まずは環境省から自然共生サイトに認定される必要が

あり、令和六年度前期までに、全国二五三か所の内、静岡県内では十か所が自然共生サイトに認定されています。

県では、今年度、自然共生サイトの認定数拡大を目指し、セミナーや現地見学会を開催しました。今後は、貴協会の皆様に御協力いただいている自然共生サイト認定・管理アドバイザー派遣制度等を活用しながら、企業等における自然共生サイト認定申請を支援することと、30 by 30の達成を目指してまいります。

第四十一回全国都市緑化かわさきフェア

○概要

「第四十一回全国都市緑化かわさきフェア」は、川崎市市政百周年を記念し、三つの公園をコア会場として、「多様性」体験・体感「歴史・文化」という様々な概念とみどりを掛け合わせ、あたらしいみどりの価値を高めるため、秋は令和六年十月十九日から十一月十七日まで開催されました。

富士見公園会場

多様性 × みどり

三会場を代表する富士見公園会場のエントランスには工場モチーフが緑につつまれていくウエルカムガーデンや軽トラック三台で演じたトラックガーデンがユニーク。公園内には、農と自然のガーデンのほか、カフェやドッグラン併設ペットサロンがオープンするなど、市民の多様なニーズを取り入れてリニューアルされました。



メインガーデン



ウエルカムガーデン



自治体出展花壇「静岡県」



壁面緑化の各種工法を展示



庭園出展コンテスト(垂直花壇部門)



3つの会場を模した「トラックガーデン」

等々力緑地会場

体感×体験
×みどり

運動施設が整う等々力緑地の正面広場では、木製パレットを活用した花壇で自由自在な空間を演出。五感を使って楽しむアクティブガーデン、池の水面を彩るガーデン、全長100mのフェア最大の地植え花壇ロングボーダーガーデンなど、みどりを自由に楽しむ都会ならではのウェルビーイングなライフスタイルを提案していました。



木製パレットの花壇で自由自在な空間を表現



百科繚乱の「ロングボーダーガーデン」



五感をテーマにした「アクティブガーデン」

生田緑地会場

歴史×文化
×みどり

岡本太郎美術館がある生田緑地では、アート感あふれる演出や展示で来場者を迎えてくれました。東京芸大生とコラボした竹のゲートのほか、メタセコイアの林では、藍染めの布と人工的に発生させた霧で、林間に差し込む光や空気のゆらぎを視覚化していました。



竹のエントランスゲート(森の世界への境界)



藍で染め上げた薪の花ランドアート



藍の布と人工の霧が林間を揺らぐ

静岡県造園施工管理技士会だより

第三十九回総会

令和六年八月二十三日(金)静岡市内にて、「第三十九回静岡県造園施工管理技士会通常総会」が開催されました。正会員七十五名のうち七十名、委任状五十一名を含む)が出席。あいさつに立った衛藤徹雄会長は、「講習会等の開催を通じて、新しい考え方や技術を研鑽していきたい」として会員に協力を求めました。議事では、令和五年度事業及び収支決算などの提出議案が全て承認されました。総会後には講演会を開催しました。

静岡県造園



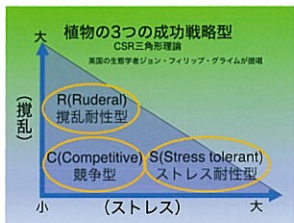
あいさつする衛藤会長

講演「雑草防除から雑草管理へ」

講師 静岡大学大学院農学領域 教授 稲垣栄洋氏

(内容)

雑草は人類と一万年以上も戦い続けている。雑草は、人間による予測不能な変化(耕作、草取り、草



講師の稲垣栄洋先生

○除草剤による防除

除草剤の選択性の違いからイネ科雑草と広葉雑草に分類できる。

除草剤の作用点の違い(①植物ホルモン、②光合成、③アミノ酸や脂肪酸の合成を理解する)。

○厄介な雑草(1)外来雑草を抜いたらどうなるか? 新しい外来雑草が生えてくるだけ。在来植物が力を発揮できない場所(河原や海辺、裸地、アルカリ土壌こそ、外来種が繁殖するチャンスとなる。

○厄介な雑草(2)頻繁に同じ除草剤を撒いていることで、結果的に除草剤抵抗性雑草(スーパー雑草)が出現する。同じ除草剤を散布しないよう注意する必要がある。

*稲垣先生は著書を多数出版しています。

「雑草論」には踏まれても立ち上がるイメージがありますが、実際には無数のエネルギーを使わず寝そべって子孫を残そうとする。雑草の戦略には、人生やビジネスに相通じるものがあるようです。

一読してみてもいいですか。

刈り、踏圧などに適応し、特種な進化を遂げてきた植物である。雑草は強いと認識されがちだが、実は弱い植物で、得意なところだけに生える。雑草をなくすことは難しいが、雑草の種類を変えることは可能。雑草防除から雑草を管理するという考え方へ転換することも大事。雑草という言葉でひとくくりにすることはできない。どんな環境でどんな種類の植物が問題になっているのか特定することで、適切な管理方法が決ってくる。植生を誘導するには、環境を変える必要がある。

技士会・視察研修

静岡県造園施工管理技士会では、令和六年十月三十日(水)神奈川県内を視察しました。参加者は十四名。

○全国都市緑化かわさきフェア(川崎市・富士見公園会場)では、工業都市として発展した歴史とみどり豊かな環境先進都市への未来をイメージした展示や、立体空間を緑で包む先駆的な壁面緑化技術などを視察しました。(P10参照)



視察研修の参加者

○国指定名勝「三溪園」(横浜市)は製糸・生糸貿易で財をなした横浜の実業家・原三溪(本名 富太郎)が東京湾に面した谷あいの地に造り上げた広さ約一七・五haの日本庭園です。当日はボランティアガイドさんの説明を受けながら、大池を囲むように整備された日本庭園と、京都や鎌倉から移築された歴史的建造物がみごとに調和した景観を鑑賞しました。

○国指定名勝「三溪園」(横浜市)は製糸・生糸貿易で財をなした横浜の実業家・原三溪(本名 富太郎)が東京湾に面した谷あいの地に造り上げた広さ約一七・五haの日本庭園です。当日はボランティアガイドさんの説明を受けながら、大池を囲むように整備された日本庭園と、京都や鎌倉から移築された歴史的建造物がみごとに調和した景観を鑑賞しました。



大池から「鶴翔園」方向を望む



紀州徳川家初代藩主頼宣の別荘を移築



三溪の住まいとして建てた「鶴翔園」

県交通基盤部と 建産連との意見交換会

令和六年十月三十日静岡市内にて、静岡県建設産業団体連合会(石井源一会長)主催による、県交通基盤部との意見交換会が開催されました。当協会からは江間会長が出席しました。冒頭、石井会長は、「働き方改革や生産性向上の取組を推進し、地域の建設業にとつて明るい展望を開いていきたい」と挨拶。森本交通基盤部長も「若者にとつて魅力的な業界となるよう関係者が一体となって取り組む必要がある」と述べました。予算確保、働き方改革、担い手確保などをテーマにした意見交換では、建産連会員からの要望や意見に対し、県担当課長らから回答がありました。当協会からは造園工事の受注機会の拡大や担い手対策について要望しました。

優秀施工者 国土交通大臣顕彰

令和六年十月十八日(金)都内において優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)の式典が開催され、良知樹園(株)の小川徹氏が、良知樹園(株)の小川徹氏が受賞されました。

小川氏は、昭和六十年から建設業関係に従事。平成十五年に現会社へ転職後は、造園工事の第一線で業務に精励し、常に技術・技能の向上に努め、他の模範であったことが評価されました。



良知樹園(株) 小川 徹氏

建設産業構造改善推進のつどい

静岡県優秀施工者 知事表彰

令和六年九月五日(木)、静岡市産学交流センターにて「令和六年度建設産業構造改善推進のつどい」が開催され、第一部の褒状授与式で、㈱伊豆急ハウジングの山田順子(やまだじゅんこ)氏が表彰されました。山田氏は、様々な土木・造園工事の責任者として優秀な評価を得ているほか、後進の指導・育成に努めていることが評価されました。



㈱伊豆急ハウジング 山田順子氏

建設産業セミナー2024

令和六年十一月二十日、静岡市内にて静岡県建設産業団体連合会主催による「令和六年度建設産業セミナー」が開催されました。



受賞者による記念撮影

講演「建設業に対する残業規制 適用後の建設現場での 状況について」

第二部の講演では、静岡労働局の専門監督官林明宏氏が、令和六年四月から、建設業にも時間外労働の上限規制の適用が開始されたことにもない、災害対応時の時間外労働について、労働基準法に基づき必要な手続きを説明しました。

◆建設業における新しい職種「建設ディレクター」について(一社)建設ディレクター協会理事の田辺直子氏が説明。建設ディレクターとは、ITスキルやコミュニケーションで現場とオフィスをつなぐ。専門スキルを身に付け、工事施工に係るデータ整理や書類作成などをサポート。書類業務を担う新たな職域を創出することで多様な人材の採用につながる」と説明しました。◆静岡県が進めるインフラDXについて、県建設政策課の山崎友寛氏が、三次元点群データを活用した被災現場の解析事例や、県と下田市の一体的な道路の包括的管理業務において、地域維持型J-Vを活用した県内初めてのケースを紹介しました。

啓発労働委員会より 若手技術者紹介



馬淵賢人さん(29歳)
浜田市 園八ヶ代造園

(就職の動機)高校で造園を学んでいましたが、インターンシップで現場を体験したことでさらに造園という仕事が好きになり、就職しました。

(仕事は)入社当時は、剪定のセンスが無いと指摘されましたが、負けず嫌いの性格もあり、先輩から指導を受けながら技術を修得しようという努力し成長することが出来ました。その後、作業だけでなく、現場管理業務を任せられるようになってからは仕事の幅も広がりました。仕事に対する意欲も高まって続けてこられました。

(やりがい)お客様が、作業完了後の現場を見て仕上がり満足して

くれた時は達成感があります。

(造園業は)若手技術者が少ないので、造園の魅力を学生らに伝えていきたいと思っています。

(休日)食べることが好きなので、妻と家庭料理を楽しんだり、二人で外食に出掛けおもしろいものを食べていると会話も弾みます。

(将来の抱負)現場管理だけでなく見積などの営業も担えるオールラウンドプレーヤーを目指して精進したいと思っています。



ツツジの刈り込み



藤木洋介さん(32歳)
浜松市 大橋造園緑化園

(就職の動機)県外で造園を八年経験した後、転職しようとハローワークで見つけた求人情報をたよりに採用面接を受けました。初めて訪れた浜松は、生まれ育った街と似ていて、ストレス無く暮らせそうだと感じ、移住を決意して就職しました。

(仕事は)これまでの経験を活かしながら、任された仕事は責任を持って確実に処理するよう心掛けています。今回の現場は、街路樹管理で、十一月になっても気温が高いせいか植樹樹には雑草が繁茂し除草の手間が掛かります。歩行者や通行車両にも気を配りながらの仕事ですが、近所の人たちから「きれいになったね」と声を掛けられると励みになります。

緑化木の手入れを通じて、造園の面白さや奥深さを多くの人に伝

えていきたいと思っています。

(休日)浜名湖の湖岸から魚釣りをして楽しんでいます。最近はイナダなどの青魚を狙っています。

「日は好日」青伸びせず、日々の仕事に励みながら、充実した生活を送る幸せを、浜松の地で感じています。



街路樹の手入れ

公益社団法人静岡県造園緑化協会会員

| 会員名 | 所在地 | 電話番号 | 会員名 | 所在地 | 電話番号 |
|--------------|--------|--------------|------------|--------|--------------|
| 株受樹園 | 東伊豆町 | 0557-23-0648 | 加藤造園株 | 焼津市 | 054-628-3235 |
| 木村造園株 | 東伊豆町 | 0557-23-1635 | 原田造園株 | 焼津市 | 054-624-2610 |
| 株伊豆急ハウジング | 伊東市 | 0557-53-2166 | 良知樹園株 | 焼津市 | 054-624-1355 |
| 株広野園 | 伊東市 | 0557-37-3028 | 南富士昌造園 | 焼津市 | 054-624-4007 |
| 株植源 | 伊東市 | 0557-45-0040 | 南杉村造園 | 焼津市 | 054-624-4030 |
| 藤原造園株 | 熱海市 | 0557-81-4240 | 南樹異園 | 焼津市 | 054-624-8941 |
| 西村造園株 | 熱海市 | 0557-82-7424 | 株中部緑化建設 | 焼津市 | 054-629-1610 |
| 大島造園土木株静岡営業所 | 裾野市 | 055-997-2775 | 株特種東海フォレスト | 島田市 | 0547-46-1551 |
| 株富士見園 | 長泉町 | 055-986-6567 | 南岩本造園 | 吉田町 | 0548-32-2507 |
| 株植正園 | 沼津市 | 055-921-0945 | 南松浦造園 | 吉田町 | 0548-32-8887 |
| 株翠石園 | 富士市 | 0545-71-2236 | 株建樹園 | 御前崎市 | 0537-86-2684 |
| 株大松園 | 富士市 | 0545-52-5220 | 田旗造園建設株 | 掛川市 | 0537-22-5951 |
| 南常葉園 | 富士市 | 0545-35-0163 | 株栞庭底苑 | 掛川市 | 0537-24-5577 |
| 株望月庭園 | 富士市 | 0545-21-5195 | 株三宝園 | 掛川市 | 0537-24-4128 |
| 南やまもと園芸 | 富士市 | 0545-38-1958 | 南小澤造園 | 掛川市 | 0537-22-9052 |
| 天野園芸株 | 富士市 | 0545-81-0655 | 南松月園 | 森町 | 0538-48-6431 |
| 株共立 | 富士市 | 0545-85-1213 | 南吾香園 | 袋井市 | 0538-24-7770 |
| 南小林造園 | 富士宮市 | 0544-24-4533 | 株片側造園建設 | 袋井市 | 0538-48-7884 |
| 赤池造園株 | 富士宮市 | 0544-24-3568 | 株ハッ代造園 | 袋井市 | 0538-43-4355 |
| 株岳陽グリーン | 静岡市清水区 | 054-385-5034 | トヨタ緑産株 | 袋井市 | 0538-44-0400 |
| 南丸福造園土木 | 静岡市清水区 | 054-375-2115 | 株庭 仁 | 磐田市 | 0538-35-5528 |
| 源平造園建設株 | 静岡市清水区 | 054-366-5525 | 株糖 節 | 磐田市 | 0538-34-3030 |
| 株小澤造園 | 静岡市清水区 | 054-353-3774 | 株浮月園 | 磐田市 | 0538-38-0529 |
| 駿河緑地造成株 | 静岡市清水区 | 054-351-2555 | 南永井造園 | 磐田市 | 0538-38-0500 |
| 南森荘造園 | 静岡市清水区 | 054-345-3859 | 南稲垣造園 | 磐田市 | 0538-38-1901 |
| 木下造園株 | 静岡市清水区 | 054-334-0757 | 南松島園 | 磐田市 | 0538-38-0790 |
| 株興津グリーン | 静岡市清水区 | 054-369-6477 | 南昭花園 | 磐田市 | 0538-55-3392 |
| 春長園緑化株 | 静岡市葵区 | 054-246-7512 | 南東海ガーデン | 磐田市 | 0538-32-5025 |
| 株ひかり造園 | 静岡市葵区 | 054-253-6508 | 株江間種苗園 | 浜松市中央区 | 053-471-1727 |
| 株森 造園 | 静岡市葵区 | 054-253-4659 | 株盛 明 | 浜松市中央区 | 053-453-3311 |
| 静岡観葉株 | 静岡市葵区 | 054-261-2094 | 株庭 節 | 浜松市中央区 | 053-455-3980 |
| 南飯田庭園 | 静岡市葵区 | 054-245-0513 | みどり園株 | 浜松市中央区 | 053-456-1165 |
| 株藤浪造園 | 静岡市葵区 | 054-245-9870 | 南太陽造園土木 | 浜松市中央区 | 053-455-4007 |
| 株静岡緑地建設 | 静岡市駿河区 | 054-669-9113 | 天龍造園建設株 | 浜松市中央区 | 053-421-1180 |
| 株理研グリーン | 静岡市駿河区 | 054-283-0692 | 赤庭産業株 | 浜松市中央区 | 053-434-4332 |
| 株西野造園 | 静岡市駿河区 | 054-283-3131 | 大協造園緑化株 | 浜松市中央区 | 053-592-4500 |
| ソウアイ造園株 | 静岡市駿河区 | 054-282-7971 | ナイス緑地株 | 浜松市中央区 | 053-485-4631 |
| 株小林土木緑化 | 静岡市駿河区 | 054-264-6499 | 市川造園株 | 浜松市中央区 | 053-449-4646 |
| 株蓬合造園 | 静岡市駿河区 | 054-285-4928 | 五常園株 | 浜松市浜南区 | 053-587-4838 |
| 株静岡グリーンサービス | 焼津市 | 054-624-5593 | 南壽量植木 | 湖西市 | 053-579-0736 |

(賛助会員)

| 会員名 | 所在地 | 電話番号 | 会員名 | 所在地 | 電話番号 |
|------------|--------|--------------|-----|-----|------|
| 株アクティオ静岡支店 | 静岡市駿河区 | 054-204-8561 | | | |

私たちは造園・緑化樹木の整備、育成技術の研鑽に努め、
公益法人として、様々な活動を行っています。緑のことお気軽にご相談ください。

- 造園・緑化相談など緑への理解を深め親しんでいただく活動
- 緑化樹木の整備育成に関する技術研鑽と技術指導支援活動
- 災害時の応急復興活動・東日本大震災では震災直後に大塚町での瓦礫処理活動を実施
- 高齢求職者就労のための技術講習支援や高校生、大学生のインターンシップ受け入れ
- 環境や自然、樹木に関する調査活動や静岡県景観整備機構として景観形成活動

公益社団法人静岡県造園緑化協会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

TEL 054-253-0586 Fax 054-251-9205 URL <https://www.midorinotakara.org/>

令和7年1月発行
編集 啓発労働委員会
題字 乗松文男氏



公益社団法人静岡県造園緑化協会は、この「みどりにく」の町内会」の紙を使うことにより、林地に捨てられる関係材を資源として活用し、静岡県内の豊かな森づくりをサポートしています。